

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表:2020年2月29日

保護者等数(児童数) 40 回収数 28 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	82%	4%	0%	14%	子どもの数・活動量に対して何とも言えない	年長クラスの児童が多い日はグループ分けするなどしてスペースに合った活動を行います。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	86%	0%	0%	4%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	82%	0%	0%	8%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	89%	0%	0%	11%	・事業所の中は大人が見ても清潔感がありました。 ・大変綺麗だと思います。	ありがとうございます。今後も清掃や消毒は実施して参ります。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	93%	0%	0%	7%	・幼稚園で指摘された事について相談したら適切に考えてもらっている。	ありがとうございます。幼稚園などで明らかになったニーズについても療育の中で支援させていただきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	71%	0%	0%	29%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	89%	0%	0%	11%	・先生方の支援のおかげで子どもの成長が助けられています。	ありがとうございます。支援計画は誰が見ても分かりやすい内容を心掛けて作成しております。そして計画を共有し、目標達成に向けた支援を検討・実践しています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	93%	0%	0%	7%	・家では出来ないことを沢山してくださり毎回楽しんでいるようです。 ・色々な経験をさせて下さって家では出来ないことの経験は本当にありがたいです。	ありがとうございます。『いつ来ても楽しいぶりも』であるように活動内容は考えております。今後も様々な職員のスキルを活かしながら新しい取り組みも行ってまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	14%	11%	50%		現在、同じグループの他事業所との交流はございますが、地域交流までは至っておりません。今後はそのような機会を積極的に設けていきたいと思っております。
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	96%	0%	0%	4%			
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	82%	0%	0%	18%			
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	29%	29%	14%	28%	・分からないことやアドバイスが欲しいときは連絡帳を通して教えてもらえます。	ありがとうございます。ペアレントトレーニングについて私たちが今後もっと知識をつけて実施できるような体制を作ってまいります。	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	92%	4%	4%	0人	・送迎の際にその日の様子や活動を丁寧に教えて下さいます。 ・日々の事を報告してもらえてとても満足しています。	ありがとうございます。送迎時のフィードバックや連絡帳でのやりとりには力を入れています。ご家族からもご家庭の様子や気になることなどを教えて頂けると助かります。	
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	57%	11%	11%	21%	・面談は希望すれば出来るのでしょうか？ ・送り迎え時に子どもの様子を沢山聞くことが出来て安心できています。	ありがとうございます。支援計画のモニタリング面談は半年に一回ですが、その他でも個別の面談等適宜対応させていただきたいと考えております。お気軽にご相談ください。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	11%	11%	29%	49%	・保護者会が開催されたら参加してみたいです。	次年度より保護者懇談会を開催させていただきます。5月に検討しております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	89%	0%	4%	7%	・大変先生方にはお世話になっております。色々な事案に対して真摯に対応して下さります。	ありがとうございます。何かご意見を頂いた際は真摯に受け止め、他スタッフと共有・協議を行い、改善策を検討します。速やかに対応出来るように心がけております。また、会議時にはロールプレイングや事例検討を実施し、再発防止に努めています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	94%	3%	3%	0人	・不安な事があると先生方一人一人が親の立場で一緒に悩んで寄り添って下さります。	ありがとうございます。おたよりや連絡帳だけでは伝わりにくいこと等はお電話や、直接お会いしてお話しさせていただきますようにしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	86%	4%	4%	6%	・SNSで活動の様子を見せて頂いています。 ・ブログを見るのが楽しみです。 ・写真を送ってくれるのが有難いです。 ・前もって行事予定をもらえたり、写真を送ってもらえて助かります。 ・日々事業所での生活をSNS等で分かりやすい文章と写真と一緒に載せて下さります。外出支援も大変手厚くして頂き子どもにとって良い経験が重ねられて有難いです。	ありがとうございます。 ・ブログやSNSに活動内容をアップするようにしています。 ・一ヶ月分の利用予約表に予定を記入させていただいております。次年度より更に詳細な活動内容を明記するようにいたしました。行事の詳細については別途ご案内を配布もしくはお電話でお伝えさせていただいております。 ・本アンケート結果はホームページで発信させていただきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	86%	7%	0%	7%		
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	46%	4%	4%	46%		マニュアルはありますが、周知徹底には至っておりません。今後は訓練内容も含め、発信してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	57%	0%	0%	43%		防災訓練は半年に一回行っています。今後も内容を更にレベルアップして訓練を実施してまいります。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	89%	4%	0%	7%	・電話がかかるとワクワクして玄関まで走っていきます。 ・楽しいといつも言っています。 ・本人はととても喜んで通っております。親としては安心しております。	ありがとうございます。子どもたちが楽しく通っていただくこと、ご家族が安心して通わせることができることを一番に考えております。
	23	事業所の支援に満足している	96%	0%	4%	0%	・とても感謝しています。 ・大変満足しております。 ・連絡一つにしてもとても丁寧で、すぐに対応していただけます。 ・よくしてもらって、子どもも楽しんでいるので通って満足です。 ・先生方の情報が丁寧に伝わります。安心して預けられています。	ありがとうございます。お一人お一人のニーズにお応えできるように、支援計画作成・共有・更新を行います。そして子どもたちの成長や新たな課題をご家族と共有しながらより良い療育に繋げていきたいと思っています。子どもたちの療育はもちろん、ご家族の悩みや不安にも寄り添っていきけるように心がけていきたいと思っております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:2020年2月29日

事業所名 きずなはうす ぷりも

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		子ども達の支度に関して視覚的に分かるようにしている。児童ごとにマークを定め、靴箱やロッカーやタオル掛けなどが分かるようになっている。	一日のスケジュールやトイレの仕方など、もっと視覚的な支援を増やしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		月数回のミーティングにはパート職員も含め参加している。必ず各自の振り返りを共有するようにしている	利用回数(数字)に関する意識統一も行っていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者の意向を随時職員同士で共有し、ご意見に関しては改善策を検討するようにしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現状は保護者による評価のみの実施であるが、必要に応じて実施したい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		外部研修や社内研修に参加している。毎月のミーティングで各自より虐待防止研修及び研修内容の報告会を行っている。	正社員以外の研修機会が少ないため、もっと幅広く実施・参加していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		面談時に聞き取りを行い、体験利用後にアセスメントを行っている。面談内容及び作成した計画は随時共有している。また、いつでも閲覧できるカードにして設置している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		必要な支援内容の共有し、統一した支援が出来るように努めている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		チームで検討し、交代でリーダーを務め、その日の療育を実施している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		外出支援やイベントを企画し、子ども達の楽しみを作っている。季節や気候、その日のメンバーを考慮したプログラムを考案し、マンネリ化しないように努めている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別に必要な支援と、集団の中で養っていく力をそれぞれ明確にしている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングで特記事項の共有及び、一日の流れと役割分担、休憩の時間等を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	集まるのが難しいのが現状なので、共有ノートに記入している。 日報は毎日印刷し、次の日の朝昨日の様子を振り返るようにしている。	送迎や事務作業により集まる時間を作れていないので、隙間時間を有効活用して手短かに共有できる体制を作る。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報を入力する職員が固定化しないようにしている。 支援の検証・改善のため記録内容を共有するようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回のモニタリングを実施している。 毎月の会議でケース検討を実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		現状は相談支援事業所や他の児童発達支援事業所間の連携に留まっているが、必要に応じて機会を作っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		同じグループの放課後等デイサービスとの連携を図っている。 保護者からの申し出があった際は保育所等訪問支援を行っている。 幼稚園等への送迎時に、先生と情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者からの申し出があった際は学校関係者とも連携を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		モニタリングのタイミングや、サービス担当者会議時は必要な情報を共有している。	もっと積極的に研修に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現状は行っていないので、今後機会を作っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		今後は参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時にドライバーより申し送りをしている。 連絡帳により保護者と職員により情報共有を行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		適宜申し出があれば行っているが、プログラム化には至っていないので、今後は取り入れていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	原案を提示し、追加・修正等あれば再作成を行って同意を得ている。	ガイドラインの提示は行っていないので、ねらいの理解を深められるように併用していきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		適宜相談には応じているが、定期的ではない。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		グループ全体と連携して行ってきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご意見をいただいた際はすぐに共有し、改善策を整え、周知するようにしている。	どの職員でも統一の対応が出来るように準備が必要。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		利用予約表に行事予定を記入している。行事前には案内文書を発行している。不定期だがブログやSNSにて活動報告を行っている	定期的な会報等は発行していないので、今後取り入れていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			写真の共有の仕方、携帯電話については検討が必要。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に分かりやすく伝わるように配慮している。(例：地震の際に集まる場所にマークを付けている)	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後は地域との交流の機会を増やしていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		マニュアルはあるが、訓練が不十分であるため、定期的の実施し、参加を促す。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災係を決め、半年に一回備蓄品の購入や避難訓練、消防署見学などを実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		初回面談時に確認するようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者よりレクチャーをいただいている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		フォーマットはあるが、作成に至っていないことが多い。事例検討のためにもヒヤリハット報告を徹底していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎月の会議においてその月の担当より虐待防止に関する研修を行うようにしている。セルフチェックリストを実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	同意書を得ている。	支援計画には記載していない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。